

主要科目の目標、特長

(保健医療技術学部 理学療法学科)

授業科目の名称	目 標	特 長
理学療法概論	<p>【一般目標】 理学療法に対するモチベーションや基礎的価値観を養う。</p> <p>【行動目標】 1)患者、障害者と理学療法士の関係を説明できる。 2)理学療法の医療職としての役割を説明できる。 3)自らの動機について確認し、説明できる。 4)身体機能の変化について簡単に説明できる。</p>	<p>患者、卒業生、現場の理学療法士などによる講義や実習、実技体験、レポート作成や意見交換などを通して、理学療法を学ぶためのモチベーションや理学療法士としての基礎的価値観を形成できるよう働きかける。</p>
運動学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	<p>【一般目標】 生物学、物理学、解剖学、生理学などの基礎的知識に基づき身体運動の基本事項を学び、それらを統合する。</p> <p>【行動目標】 1)骨・関節・筋など、運動器に関する解剖・生理学的事項の概要を説明できる。 2)肩複合体および肘・前腕複合体の解剖学的構造とその運動の概要を説明できる。 3)手関節・手指・頭部・体幹および下肢における解剖学的構造とその運動の概要を説明できる。 4)正常歩行に関する基本的概念を説明できる。</p>	<p>運動学は理学療法の基礎として重要な科目である。解剖学、生理学などの基礎的知識に基づき、身体の構造と機能の関係を統合的に学習する。現時点でのエビデンスを提示し、卒後の理学療法の臨床に対応できる知識の修得を目指している。</p>
運動器系理学療法Ⅰ・Ⅱ	<p>【一般目標】 運動器疾患の理学療法に必要な各疾患の理解、解剖学や運動学の知識を関連づけながら、理学療法評価や治療技術を修得する。</p> <p>【行動目標】 1)運動器疾患の概要や病態について説明できる。 2)運動器疾患の理学療法上の問題点を把握し、必要な評価項目を考え、評価を実施することができる。</p>	<p>実技も加えて、運動器疾患の理解の上に立った理学療法評価および治療について学習する。</p>
中枢神経系理学療法Ⅰ・Ⅱ	<p>【一般目標】 神経障害の捉え方、主な神経・筋疾患の理学療法評価および理学療法アプローチについて学習する。</p> <p>【行動目標】 1)神経系の主な機能について説明できる。 2)神経系の損傷と機能障害の関連性について説明できる。 3)主な神経・筋疾患の障害の特徴について説明できる。 4)主な神経・筋疾患の理学療法評価方法について説明できる。 5)主な神経・筋疾患に対する理学療法について説明できる。</p>	<p>画像や実習による体験的な学習も加えて、神経系の機能とその障害についての理解を基に、評価方法や理学療法アプローチを統合的に学習する。</p>
内部障害理学療法Ⅰ・Ⅱ	<p>【一般目標】 呼吸不全の評価、排痰法、呼吸訓練、運動療法について基礎知識の学習及び実習を通して理解することを目標とする。</p> <p>【行動目標】 1)循環器系疾患に対する理学療法の理解には病態把握に関する知識が必要である。 2)虚血性心疾患、弁膜症、心不全、大血管疾患、末梢動脈疾患の病態について学ぶ。 3)急性期から慢性期に応じた評価、運動療法について理解することを目標とする。 4)代謝系疾患が身体運動に及ぼす影響と理学療法の考え方を基礎知識の学習及び実習を通して理解することを目標とする。</p>	<p>内部障害におけるアセスメントから体位ドレナージなどの治療に至る一連の流れを学ぶ。</p>